

「中津市公共施設白書」の公表について



1. 趣旨

人口減少と厳しい財政運営が想定される中、地域の状況に合ったまちづくりを進めるためには、長期的な視点をもって、公共施設の最適な配置、更新、長寿命化等を計画的に行うことが不可欠です。

本市が保有する公共施設の今後のあり方（基本方針）を「中津市公共施設等総合管理計画」として平成 28 年度中に策定するにあたり、公共施設の現状把握を目的として取りまとめた「中津市公共施設白書」を公表します。

2. 概要

本市が保有する主要な公共施設（学校、公営住宅、庁舎等の建物）について、以下の情報を掲載しています。

基準日	原則として、平成 26 年度末（平成 27 年 3 月 31 日）時点					
対象施設数	483 【主な内訳】					
	公営住宅	73	集会施設	64	学校教育施設	39
	保養観光施設	36	スポーツ施設	35	保育所幼稚園等	28
施設状況	施設名、外観写真、所在地、建築年度、延床面積、構造、耐震化状況等					
更新費用推計	今後 40 年間で 835.6 億円、1 年あたり約 20.9 億円 ・直近 5 ヶ年における公共施設の建築等に要した経費の約 1.7 倍に相当します ・この推計には、道路、橋りょう、上下水道等のインフラ施設を含んでいません					



3. 「中津市公共施設等総合管理計画」策定までのスケジュール

- 平成 28 年 5 月～ 内部検討委員会を立ち上げ、施設の類型ごとに基本方針を検討
- 平成 28 年 12 月 「中津市公共施設等総合管理計画」素案の完成
- 平成 29 年 3 月 「中津市公共施設等総合管理計画」策定・公表